

☆☆☆ 朝 礼 講 話 ☆☆☆

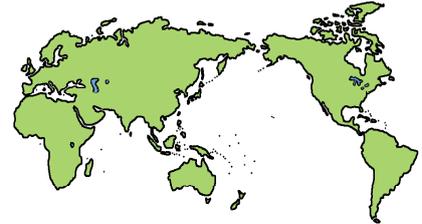
1月25日(月)

『日本の自慢は、 小学校に秘密があった！？』

講話 3年担任 横澤 香

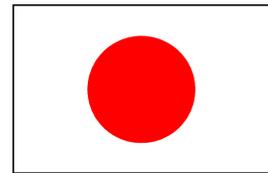


わたしはテレビを見るのが好きで、特にいろいろな国についてのテレビ番組をよく見ます。『世界の果てまでイッテQ!』とか、『なんでもワールドランキング ネプ&イモトの世界番付』などが好きで、いつも見えています。



今日は、『なんでもワールドランキング ネプ&イモトの世界番付』でやっていた内容で、『日本のすごいところランキング!』がとても面白いなと思ったので、みなさんに紹介します。このランキングは、外国から旅行に来ている人や、日本に住んでいる外国人の人に、『日本のすごいと思うところ』を尋ねて、多かった順になっています。

- 1位 『 』がない!
- 2位 時間に正確! (時間をきちんと守る)
- 3位 食べ物がおいしい!



1位の『 』に入る言葉は、何でしょう?それは、は、『ゴミ』です。「日本には、ゴミがなくとてもきれいだ」と外国の人たちは言っていました。なぜ、日本はこんなにもきれいなのでしょうか?この番組では、一つの説として、『日本の小学校に秘密がある』と説明していました。それは、小学校の『そうじ』です。アメリカの小学校では、子どもたちが行うそうじはなく、そうじの担当の大人の人がいて、全部やってくれるそうです。「いいなあ」と思う人もいるかもしれませんが、日本がきれいである理由は、『子どものころから、そうじをするいい習慣がついている』からだともわたしも思います。そうじは大変ですが、とてもすばらしい習慣です。これからも、このそうじのような『すてきな習慣』を増やしていきましょう!



青少年赤十字防災教育

『まもるいのち ひろげるぼうさい』

26日(火)に、青少年赤十字社から指導に来ていただき、4~6年生が防災の学習を行いました。

最初に、南海トラフ巨大地震の仕組みや被害の予想について、説明を聞きました。



続いて、近い将来必ず来るこの地震災害が、自分一人で行ったときに起こった際、どのように行動し周りとの協力する必要があるのか『いえまですごろく』というゲームを通して学びました。これは、子どもたちが家の外で一人で被災した際に、安全に家にたどり着くま



で起こりうる予期せぬ事態や知っておくべき知識を学ぶことができるようにしてあります。「物が落ちてきてけがをする」「動けなくなっている人を助ける」など問題に遭遇すると、同じグループの友だちと協力して対処しながらコマを進めて行きました。問題を解決したり、協力して進む道をつなげたりするたびに歓声をあげながら盛り上がっていました。参観してもらったお母さん方にもグループを作ってもらい、実際参加してもらいましたが、子どもたち以上に盛り上がっていたようです。

予定の時間がきたところで、ふり返りを行いました。ワークシートに「印象に残ったこと」「気をつけたいこと」「家族で話し合いたいこと」などをまとめ、発表しました。「他の人と助け合わないといけないと思った」「すごろくにあったことが本当に災害が起こったときにもできるようにしたい」「帰ったらすぐに家族の避難場所を話し合っ



て決めたい」など、この学習を通して災害に対して真剣に考えることができたようです。指導していただいた手島先生の締めくくりの言葉が、「災害への備えは、みんなが家で伝えてもらうのが一番伝わりやすい」ということでした。ぜひ、各ご家庭で災害に対する準備や対応について話し合ってください。